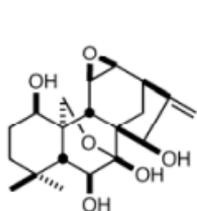


# 28G-pm04

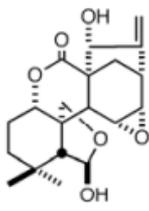
延命草 (*Rabdosia trichocarpa*) の新規ジテルペン成分とその胃粘膜保護作用  
吉川 雅之<sup>1</sup>, ○杉本 幸子<sup>1</sup>, 中村 誠宏<sup>1</sup>, 作前 早夏<sup>1</sup>, 狩野 土<sup>2</sup>, 松田 久司<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京都薬大, <sup>2</sup>黒姫和漢研)

【目的】シソ科 (Labiatae) 植物クロバナヒキオコシ (*Rabdosia trichocarpa*) は、長野、新潟、石川、富山県などの比較的寒冷地に自生する多年生草本である。その全草は、日本民間薬の延命草として消化不良、食欲不振や腹痛の治療に使用される。今回、我々は日本民間薬の機能性成分の探索研究の一環として、クロバナヒキオコシ (*R. trichocarpa*) 全草のメタノール抽出エキスにエタノールおよびインドメタシン誘発胃粘膜損傷抑制作用を見出したことから、その含有成分の探索を行った。

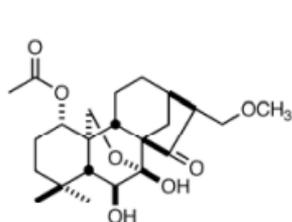
【方法・結果】長野県 (黒姫) 産クロバナヒキオコシ (*Rabdosia trichocarpa*) 全草をメタノールで熱時抽出し、得られた抽出エキスについて、酢酸エチルおよび水にて溶媒分配した。得られた酢酸エチル分画について、順相シリカゲル、逆相 ODS カラムクロマトグラフィーおよび HPLC を用いて繰り返し分離精製し、4 種の新規ジテルペン [trichocarpol A (1), B (2), C (3), D (4)] を単離・構造決定するとともに、28 種の既知化合物を単離した。また、主要成分についてエタノール誘発胃粘膜保護作用を検討したので、併せて報告する。



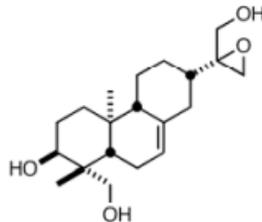
trichocarpol A (1)



trichocarpol B (2)



trichocarpol C (3)



trichocarpol D (4)